

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第4701371号
(P4701371)

(45) 発行日 平成23年6月15日(2011.6.15)

(24) 登録日 平成23年3月18日(2011.3.18)

(51) Int. Cl. F 1
G06Q 10/00 (2006.01) G06F 19/00 100
E02D 17/20 (2006.01) E02D 17/20 106

請求項の数 8 (全 39 頁)

(21) 出願番号	特願2009-122624 (P2009-122624)	(73) 特許権者	304020177 国立大学法人山口大学
(22) 出願日	平成21年5月21日(2009.5.21)		山口県山口市吉田1677-1
(65) 公開番号	特開2010-271877 (P2010-271877A)	(73) 特許権者	396007890 大日本コンサルタント株式会社
(43) 公開日	平成22年12月2日(2010.12.2)		東京都豊島区駒込3丁目23番1号
審査請求日	平成22年8月26日(2010.8.26)	(73) 特許権者	594162308 西日本技術開発株式会社
早期審査対象出願			福岡県福岡市中央区渡辺通一丁目1番1号
		(73) 特許権者	591260672 中電技術コンサルタント株式会社
			広島県広島市南区出汐2丁目3番30号
		(73) 特許権者	598154947 株式会社 エイト日本技術開発
			岡山県岡山市北区津島京町3丁目1-21 最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 災害発生確率評価システムとそのプログラム

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

入力部と、この入力部から入力されるデータを格納するデータベースとを有し、前記入力部から入力されるか又は前記データベースに前記入力部を介して格納される、災害発生の観測対象箇所において災害の発生要因毎に予め観測された観測学習データと、前記観測対象箇所における前記予め観測された観測学習データに対応する災害の発生・非発生に関する学習データとを災害発生学習データとし、

災害の発生・非発生に対して放射状基底関数ネットワーク手法(以下、RBFNという。)を用いて、前記災害の発生要因毎に観測された前記観測学習データ及び災害の発生・非発生に関する前記学習データによって予め解析されて、前記入力部から入力されるか又は前記データベースに前記入力部を介して格納される、前記観測学習データに対応した災害の発生・非発生に関するRBFN値をRBFN値学習データとし、

前記入力部から入力されるか又は前記データベースに前記入力部を介して格納される、回帰関数データを読み出しつつ、この回帰関数データに、前記災害の発生・非発生に関する前記学習データと前記RBFN値学習データのピーク値とを前記入力部又は前記データベースから読み出して代入し、式[4]で示される災害発生確率関数(P)を回帰分析するための式[1]~[4]を設定する解析条件設定部と、